



## 日本語と日本文学 第64号 : 標題紙, 目次, 奥付

雑誌名	日本語と日本文学
巻	64
発行年	2019-12-28
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00154828">http://hdl.handle.net/2241/00154828</a>

# 日本語と日本文学

## 第 64 号

- 
- 説話の語り変えと聖遺物  
——聖徳太子南岳取経説話をめぐって—— … 谷口 孝介 ( 1)
- 大伴家持の子日歌について  
——「玉簪」を中心として—— …… 劉 宇超 ( 13)
- 『綜合文化』における「綜合」  
——弁証法的性格の検討—— …… 胸組美佐子 ( 27)
- 
- 子供が綴った文章に接することの心性  
——小砂丘忠義の綴方指導を参照して—— … 飯田 和明 (左 1)
- 

平成30年12月

筑波大学日本語日本文学会

## 投稿規定

- 一、投稿資格を有するものは、本学会の会員とします。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙四十枚（一万六千字）程度。ワープロ原稿の場合はハードコピー二部に電子媒体ファイルを添付してください（原稿と電子媒体は原則としてお返しいたしません）。
- 一、投稿は、毎年度二月末日までに、編集委員会あてに送付してください。
- 一、投稿論文の採否は、編集委員会で指名する複数の査読者による審査をへて、編集委員会決定して投稿者に報告します。
- 一、本誌の論文は、筑波大学附属図書館のつくばリポジトリに登録され、全文データベースとして蓄積・利用されます。
- 一、原稿送り先

〒305-8571茨城県つくば市天王台一丁目一一一

筑波大学人文社会科学系文芸・言語専攻  
筑波大学日本語日本文学会

『日本語と日本文学』編集委員会  
（編集委員）石塚修（委員長）・大倉浩・  
甲斐雄一郎・清登典子・沼田善子

## 投稿案内

本誌では会員の皆様の御投稿をお待ちしております。

学会機関誌というまでもなく、学外のOB、学内の教員および学生の三者が一体となって、当該学問に貢献しうる学問的成果を公表してゆく媒体として存在するものであります。従いまして、本誌の一層の充実、この三者の構成員の熱意に負うところが多大であります。本誌の価値を高め発展させてゆくためには、これら構成員から質の高い論文の投稿を仰がねばなりません。構成員、とりわけ学外のOBの皆様の積極的な御協力を願う次第です。

投稿は「投稿規定」により、また投稿原稿は編集委員会の審査を経た上で掲載させていただきます。なお、抜刷の作製料については投稿者の御負担とさせていただきます。御了承下さい。

## 編集後記

第六十四号をお届けします。

今回もまた原稿がなかなか調えられずに、予定どおりの刊行にいたりませんでした。そのため、執筆者をはじめ皆様にはご迷惑をおかけいたしました。より迅速かつ円滑な

刊行をめざしていきたく考えておりますので、会員の皆様にはぜひとも積極的に投稿いただきますよう心よりお待ち申し上げております。ことに大学院生や若手研究者の皆様には、意義のある研究の成果発表の場のひとつとして、本誌をご活用いただけるように査読体制などを一層充実させるべく努めてまいりたいと存じます。

（編集委員長 石塚）

## 【前号訂正】

前号記載の劉玲氏の論文末尾に以下の文を追加。（付記）本稿は2016年度中華人民共和国国家社会科学基金項目資助（一般項目／項目号16BZW062）を得たものであり、その研究成果の一部とする。特記して感謝を申し上げる。

平成三十年十二月二十八日印刷  
平成三十年十二月二十八日発行

〒305-8571茨城県つくば市天王台一丁目一一一

筑波大学文芸・言語専攻

編集・発行 筑波大学日本語日本文学会

代表者 矢 澤 真 人

印刷所 第一印刷株式会社

☎〇二八二（三二）一五五一